

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和元・2年度大野川水系治水計画検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分河川国道事務所長 樋口 尚弘 大分県大分市西大道1丁目1番71号
契約年月日	令和 元年 7月10日
契約業者名	(株)建設技術研究所 九州支社
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	30,151,000円(税込み)
予定価格	30,151,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	大野川流域
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 元年 7月11日
履行期間(至)	令和 3年 2月28日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和元・2年度大野川水系治水計画検討業務

2. 履行場所 大野川流域

3. 契約の相手方 住所：福岡県福岡市中央区大名2-4-12
会社名：株式会社建設技術研究所九州支社
電話：092-714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第3号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、平成29年9月台風第18号出水及び近年の流域の社会情勢の変化を踏まえ、大野川で計画的に河川整備を実施するため、今後の河川整備の目標、実施内容、事業投資効果の検討を行うことを目的とする。

2) 業務の内容

計画準備、資料収集整理、河川整備計画検討、河道技術会議資料作成、学識者懇談会の資料作成及び運営支援、報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を19者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー・工程表・その他」における有益な代替案、重要事項の指摘が優れており、特定テーマの「大野川における計画高水流量に対する河道配分流量の河道整備完了後の河川工事（洪水調節施設含む）の事業投資効果の算出方法について」に対する技術提案における的確性及び実現性の提案内容について、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 調査第一課長